

大地の変化（1）流れる水のはたらきと地層

□001	流れる水の大地に対する3つのはたらきは何か	☆☆☆☆☆	しん食・運ばん・たい積
□002	流れる水が地面の土砂を削るはたらきを何というか	☆☆☆☆☆	侵食（しん食）作用
□003	流れる水が土砂を運ぶはたらきを何というか	☆☆☆☆☆	運搬（運ばん）作用
□004	流れる水が土砂を積もらせるはたらきを何というか	☆☆☆☆☆	堆積（たい積）作用
□005	流水のはたらきのうち、水の量が多いと大きくなるものをすべて答えよ	☆☆☆	しん食・運ばん
□006	流水のはたらきのうち、水の流れる速いと大きくなるものをすべて答えよ	☆☆☆	しん食・運ばん
□007	流水のはたらきのうち、水の量が少ないと大きくなるものをすべて答えよ	☆☆☆	たい積
□008	流水のはたらきのうち、水の流れる遅いと大きくなるものをすべて答えよ	☆☆☆	たい積
□009	土砂の粒のうち、直径2mmより大きいものを何というか	☆☆☆☆☆	れき（礫）
□010	土砂の粒のうち、直径0.06mm～2mmの範囲内のものを何というか	☆☆☆☆☆	砂
□011	土砂の粒のうち、直径0.06mmより小さいものを何というか	☆☆☆☆☆	泥（どろ）
□012	川がまっすぐ流れているところでは、流れが速くなるのはどの部分か	☆☆☆☆	川の中央部
□013	川がまっすぐ流れているところでは、もっとも深くなるのはどの部分か	☆☆☆☆	川の中央部
□014	川が曲がって流れているところでは、流れが速くなるのはどの部分か	☆☆☆☆	カーブの外側
□015	川が曲がって流れているところでは、もっとも深くなるのはどの部分か	☆☆☆☆	カーブの外側

<input type="checkbox"/> 016	川が曲がって流れているところの、カーブの外側にできる地形は何か	☆☆☆	崖 (かけ)
<input type="checkbox"/> 017	川が曲がって流れているところの、カーブの内側にできる地形は何か	☆☆☆	河原 (かわら)
<input type="checkbox"/> 018	川の上流部で見られる、しん食によりできた地形は何か	☆☆☆☆	V字谷
<input type="checkbox"/> 019	川が山地から平地に出るところで見られる、たい積によりできた地形は何か	☆☆☆☆☆	扇状地
<input type="checkbox"/> 020	川が平野部を曲がりくねって流れることを何というか	☆☆☆☆	蛇行 (だ行)
<input type="checkbox"/> 021	曲がりくねった川で洪水が起きた後、流路が変わって形成される地形は何か	☆☆☆	三日月湖
<input type="checkbox"/> 022	川の中下流域で、川底を侵食することのできる地形は何か	☆	河岸段丘
<input type="checkbox"/> 023	川の河口付近に、たい積によってできる地形は何か	☆☆☆☆☆	三角州
<input type="checkbox"/> 024	V字谷が形成されるのはどのような場所か	☆☆☆☆	川の上流の山間部
<input type="checkbox"/> 025	扇状地が形成されるのはどのような場所か	☆☆☆☆☆	川が山地から平地に出るところ
<input type="checkbox"/> 026	扇状地の土地の特徴を答えよ	☆☆☆	粒の大きな土砂からなり、水はけがよい (水持ちが悪い)
<input type="checkbox"/> 027	三日月湖が形成されるのはどのような場所か	☆☆☆	川が蛇行した部分
<input type="checkbox"/> 028	三角州が形成されるのはどのような場所か	☆☆☆☆☆	川の河口付近
<input type="checkbox"/> 029	砂、泥、れきを水の入ったペットボトルに入れると、下からどのような順番で積もるか	☆☆☆☆☆	れき、砂、泥
<input type="checkbox"/> 030	種類の異なる土砂の重なりが模様となって見えるものを何というか	☆☆☆☆☆	地層

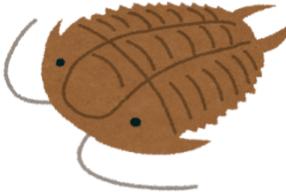
大地の変化 (1)

□031	れき・砂・泥のうち、河口近くにたい積しやすいものはどれか	☆☆☆☆	れき
□032	れき・砂・泥のうち、河口から遠くにたい積しやすいものはどれか	☆☆☆☆	泥
□033	地層はどこで作られるか	☆☆☆☆	海底
□034	A~Cのそれぞれにたい積する土砂は何か	☆☆☆☆☆	A:れき、B:砂、C:泥
□035	図の海の海面が大幅に上昇したとき、Aにたい積するものは何から何へ変化するか	☆☆	れきから泥(砂)に変化する
□036	図の海の海面が大幅に低下したとき、Cにたい積するものは何から何へ変化するか	☆☆	泥かられき(砂)に変化する
□037	地層の中に見られる砂やれきの粒の特徴は何か	☆☆☆	角が取れて丸みを帯びている
□038	図の地層に見られる特徴は何か	☆☆	れきの中で上に粒が大きいものが見られるので、地層が逆転している
□039	図のような泥、れき、砂がたい積し逆転の見られない地層の、過去の海の深さの変化を答えよ	☆☆☆	浅かったのがだんだん深くなっていった
□040	図のような砂、れき、泥がたい積し逆転の見られない地層の、過去の海の深さの変化を答えよ	☆☆☆	深かったのが急に浅くなり、その後また深くなっていった
□041	図のようなれき、泥、砂がたい積し逆転の見られない地層の、過去の海の深さの変化を答えよ	☆☆☆	深かったのが急に浅くなり、その後また深くなっていった

□042	地層が連続してたい積し、境界が直線状になっている状態を何というか	☆☆☆	整合
□043	地層どうしの境界にてこぼこがある状態を何というか	☆☆☆☆☆	不整合
□044	不整合はどのように形成されるか答えよ	☆☆☆☆	地層が隆起して陸上で侵食された後、海底に沈降し再び上からたい積してできる
□045	地層に見られる不整合面からわかることは何か	☆☆	その地層がかつて地上に隆起したこと
□046	地層に大きな力が急激に加わり、地層が切断されずれたものを何というか	☆☆☆☆☆	断層
□047	地層に大きな力がゆっくりと加わり、地層が曲がったものを何というか	☆☆☆☆	しゅう曲
□048	図のような地層の状態の名前と、どのような力で形成されたか答えよ	☆☆	左右に引っ張られる力でできた正断層
□049	図のような地層の状態の名前と、どのような力で形成されたか答えよ	☆☆	左右に押しつける力でできた逆断層
□050	図のような地層の状態の名前と、どのような力で形成されたか答えよ	☆☆☆	ゆっくりと左右から押されてできたしゅう曲
□051	断層のずれが、今後再び動く可能性があるところを何というか	☆☆	活断層
□052	土砂や生物の死がい海底で押し固められてできた岩石を何というか	☆☆☆☆☆	たい積岩
□053	泥が押し固められてできた岩石を何というか	☆☆☆☆	泥岩(デイ岩)
□054	砂が押し固められてできた岩石を何というか	☆☆☆☆	砂岩(サ岩)
□055	れきが押し固められてできた岩石を何というか	☆☆☆☆	れき岩

<input type="checkbox"/> 056	サンゴ・ウミユリなどの死がいがたい積してできた岩石を何というか	☆☆☆☆☆	石灰岩
<input type="checkbox"/> 057	放散虫（ホウサンチュウ）の死がいがたい積してできた岩石を何というか	☆☆	チャート
<input type="checkbox"/> 058	泥岩の一種で、有機物を多く含み割れやすく、シェールガスを取り出すことができる岩石を何というか	☆	頁岩（ケツ岩）
<input type="checkbox"/> 059	泥岩が熱を受けて変成したもので、固く水を通さないため硯（すずり）や瓦の原料として使われる岩石を何というか	☆	粘板岩（ネンバン）岩
<input type="checkbox"/> 060	石灰岩が熱を受けて変成したもので、高級家具や建材として利用される岩石を何というか	☆	大理石
<input type="checkbox"/> 061	火山灰が押し固められてできた岩石を何というか	☆☆☆☆☆	凝灰岩（ギョウカイ）岩
<input type="checkbox"/> 062	たい積岩のうち、塩酸を加えると二酸化炭素を発生させる岩石は何か	☆☆☆☆☆	石灰岩
<input type="checkbox"/> 063	チャートのもとになった生物は何か	☆	放散虫（ホウサンチュウ）
<input type="checkbox"/> 064	頁岩から取り出せる燃料を何というか	☆	シェールガス（シェールオイル）
<input type="checkbox"/> 065	たい積岩のうち、粒が角張っているものは何か	☆☆☆	凝灰岩（ギョウカイ）岩
<input type="checkbox"/> 066	発掘された地層の環境を知る手がかりとなる化石を何というか	☆☆☆☆☆	示相化石
<input type="checkbox"/> 067	発掘された地層の地質時代を知る手がかりとなる化石を何というか	☆☆☆☆☆	示準化石
<input type="checkbox"/> 068	シジミの化石からわかることは何か	☆☆☆	海水と淡水の混ざる汽水水域であったこと
<input type="checkbox"/> 069	アサリ、ハマグリからわかることは何か	☆☆☆	浅い海であった
<input type="checkbox"/> 070	ブナの化石からわかることは何か	☆☆☆	温帯の涼しい気候の森林があった

大地の変化（1）

□071	以下の生物を地質時代で分類せよ【キョウリュウ、フズリナ、ビカリア、マンモス、アノマロカリス、サンヨウチュウ、アンモナイト】	☆	古生代：フズリナ、アノマロカリス、サンヨウチュウ 中生代：キョウリュウ、アンモナイト 新生代：ビカリア、マンモス
□072	図の生物の名前と、生息した地質時代を答えよ		☆☆☆☆ 三葉虫 (サンヨウチュウ)、古生代
□073	図の生物の名前と、生息した地質時代を答えよ		☆☆☆☆ アンモナイト、中生代
□074	図の生物の名前と、生息した地質時代を答えよ		☆ ビカリア、新生代
□075	図の生物の名前と、生息した地質時代を答えよ		☆ アノマロカリス、古生代
□076	図の生物の名前と、生息した地質時代を答えよ		☆ フズリナ、古生代
□077	古生代の化石から発見される絶滅したと考えられていた種が、南アフリカで生息するのが発見され「生きた化石」と呼ばれた古代魚は何か	☆☆☆	シーラカンス
□078	新生代の化石から発見される絶滅したと考えられていた種が、中国で現存するのが発見され「生きた化石」と呼ばれた古代樹木は何か	☆☆☆	メタセコイア (アケボノスギ)
□079	示準化石とはどのようなものか答えよ	☆☆☆	今は絶滅した生物やその痕跡の化石で、地質時代の手がかりとなる化石
□080	示相化石とはどのようなものか答えよ	☆☆☆	今も生きている生物やその痕跡の化石で、当時の環境を知る手がかりとなる

大地の変化（1） 解答

001	しん食・運ぱん・たい積	流れる水はしん食、運ぱん、たい積の3つのはたらきを大地の及ぼす
002	侵食（しん食）作用	流れる水が地面の土砂を削るはたらきを侵食といい、水の量が多く流れが速いほど大きくなる
003	運搬（運ぱん）作用	流れる水が土砂を運ぶはたらきを運搬といい、水の量が多く流れが速いほど大きくなる
004	堆積（たい積）作用	流れる水が土砂を積もらせるはたらきを堆積といい、水の量が少なく流れが遅いほど大きくなる
005	しん食・運ぱん	しん食と運ぱんの作用は、水の量が多く、流れが速いほど大きくなる
006	しん食・運ぱん	しん食と運ぱんの作用は、水の量が多く、流れが速いほど大きくなる
007	たい積	たい積の作用は、水の量が少なく、流れが遅いほど大きくなる
008	たい積	たい積の作用は、水の量が少なく、流れが遅いほど大きくなる
009	れき（礫）	岩石の粒は、大きい順にれき＞砂＞泥という名がついている
010	砂	岩石の粒は、大きい順にれき＞砂＞泥という名がついている
011	泥（どろ）	岩石の粒は、大きい順にれき＞砂＞泥という名がついている
012	川の中央部	川がまっすぐ流れているところでは、川の中央部の流れが速くなっている
013	川の中央部	川がまっすぐ流れているところでは、川の中央部の深さが深くなっている
014	カーブの外側	川が曲がって流れているところでは、カーブの外側の流れが速くなっている
015	カーブの外側	川が曲がって流れているところでは、カーブの外側の深さが深くなっている

016	崖 (がけ)	カーブの外側は流れが速く、侵食作用が強く働くため、川岸が削られて崖になる
017	河原 (かわら)	カーブの内側は流れがおそく、堆積作用が強く働くため、石が積もって河原になる
018	V字谷	川の上流の山間部は流れが速く、侵食作用が強く働きV字谷を形成する
019	扇状地	川が山地から平地に出るところで流れが遅くなり、たい積した土砂によって扇状地が形成される
020	蛇行 (だ行)	川が曲がりくねって流れることを蛇行といい、洪水を起こしやすい場所になる
021	三日月湖	蛇行部分が洪水時にショートカットされて、取り残されると三日月湖になる
022	河岸段丘	川底の侵食と隆起によって階段状の河岸段丘が形成される
023	三角州	川の河口付近では、押し戻された土砂がたい積し、三角州を形成する
024	川の上流の山間部	川の上流の山間部は流れが速く、侵食作用が強く働きV字谷を形成する
025	川が山地から平地に出るところ	川が山地から平地に出るところで流れが遅くなり、たい積した土砂によって扇状地が形成される
026	粒の大きな土砂からなり、水はけがよい (水持ちが悪い)	扇状地は上流から流れてきた大きな土砂がたい積したため、水はけがよく水田には向かず、果樹園として利用される
027	川が蛇行した部分	蛇行部分が洪水時にショートカットされて、取り残されると三日月湖になる
028	川の河口付近	川の河口付近では、押し戻された土砂がたい積し、三角州を形成する
029	れき、砂、泥	粒の大きな順に、れきから下に沈み、砂、泥の順に積もる
030	地層	海底でたい積した土砂の層が地上の露頭に現れたものを地層という
031	れき	流水に運ばれてきたれきは河口近くの浅い部分にたい積しやすい

032	泥	流水に運ばれてきた泥は、河口から遠くの深い部分にたい積しやすい
033	海底	地層は流水によって運ばれた土砂が海底で作ったもの
034	A:れき、B:砂、C:泥	流水に運ばれてきた土砂は、河口に近い（浅い）ほうかられき・砂・どろの順にたい積する
035	れきから泥（砂）に変化する	Aはもともと浅い海でれきがたい積していたのが、深くなると泥（砂）がたい積するようになる
036	泥かられき（砂）に変化する	Aはもともと深い海で泥がたい積していたのが、浅くなるとれき（砂）がたい積するようになる
037	角が取れて丸みを帯びている	地層のたい積物は流水のはたらきを受けて、角が取れて丸くなっている
038	れきの中で上に粒が大きいものが見られるので、地層が逆転している	通常、1つの層の中では粒が大きいものが下にたまるが、図のれきは上に大きい粒がある
039	浅かったのがだんだん深くなっていった	地層は下からたい積しているので、浅い（れき）→中間（砂）→深い（泥）という変化になる
040	深かったのが急に浅くなり、その後また深くなっていった	地層は下からたい積しているので、深い（泥）→浅い（れき）→中間（砂）という変化になる
041	深かったのが急に浅くなり、その後また深くなっていった	地層は下からたい積しているので、深い（泥）→浅い（れき）→中間（砂）という変化になる
042	整合	地層のたい積が連続していて、境界面がまっすぐな状態を整合という
043	不整合	地層のたい積に中断があり、一部侵食された上からたい積したものを不整合という
044	地層が隆起して陸上で侵食された後、海底に沈降し再び上からたい積してできる	不整合は地上で侵食された後に再びたい積することで形成される
045	その地層がかつて地上に隆起したこと	不整合面の数は、その地層が過去に地上に露出した回数を表す
046	断層	地層のずれを断層といい、大きな力が急激に加えられることができる
047	しゅう曲	地層に左右から押しつける大きな力が加えられて曲がったものをしゅう曲という

048	左右に引っ張られる力でできた正断層	断層を滑り降りる形になっているのが正断層で、左右に引っ張られてできる
049	左右に押しつける力でできた逆断層	断層を乗上げる形になっているのが逆断層で、左右に押しつけてできる
050	ゆっくりと左右から押しつけてできたしゅう曲	地層に左右から押しつける大きな力が加えられて曲がったものをしゅう曲という
051	活断層	断層が再びずれる可能性があるものを活断層といい、地震の原因となる
052	たい積岩	土砂や生物の死がいや殻が海底で押し固められてできた岩石をたい積岩という
053	泥岩 (デイ岩)	泥が押し固められてできた岩石を泥岩という
054	砂岩 (サ岩)	砂が押し固められてできた岩石を砂岩という
055	れき岩	れきが押し固められてできた岩石をれき岩という
056	石灰岩	サンゴ・ウミユリなどの死がいや殻がたい積したものが石灰岩で、塩酸を加えると二酸化炭素を発生させる
057	チャート	ホウサンチュウの死がいや殻がたい積した岩石をチャートという
058	頁岩 (ケツ岩)	頁岩は泥岩の一種で、有機物を多く含み割れやすく、シェールガスの原料となる
059	粘板岩 (ネンバン) 岩	粘板岩は泥岩の一種で、水を通さないため地層の中にあるとその上から地下水がしみ出す
060	大理石	石灰岩が熱を受けて変成した大理石は、高級家具や建材として用いられる
061	凝灰岩 (ギョウカイ) 岩	火山灰が堆積した岩石を凝灰岩といい、顕微鏡で見ると粒が角張っている
062	石灰岩	石灰岩の主成分は炭酸カルシウムで、塩酸を加えると二酸化炭素を発生させる
063	放散虫 (ホウサンチュウ)	ホウサンチュウの死がいや殻がたい積した岩石をチャートという

064	シェールガス (シェールオイル)	頁岩は泥岩の一種で、有機物を多く含み割れやすく、シェールガスの原料となる
065	凝灰岩 (ギョウカイ) 岩	火山灰が堆積した岩石を凝灰岩といい、顕微鏡で見ると粒が角張っている
066	示相化石	現在も生息している生物の化石は、当時の環境を知る手がかりになる示相化石という
067	示準化石	すでに絶滅している生物の化石は、地質時代を知る手がかりとなる示準化石という
068	海水と淡水の混ざる汽水域であったこと	シジミは示相化石で、汽水域であったことを示す
069	浅い海であった	アサリやハマグリは示相化石で、浅い海であったことを示す
070	温帯の涼しい気候の森林があった	ブナは示相化石で、温帯の涼しい気候の場所で繁茂する
071	古生代：フズリナ、アノマロカリス、サンヨウチュウ 中生代：キョウリュウ、アンモナイト 新生代：ビカリア、マンモス	現在絶滅している生物の化石からは、地質時代が推測できる
072	三葉虫 (サンヨウチュウ)、古生代	三葉虫は古生代の示準化石
073	アンモナイト、中生代	アンモナイトは中生代の示準化石
074	ビカリア、新生代	ビカリアは新生代の示準化石
075	アノマロカリス、古生代	アノマロカリスは古生代の示準化石
076	フズリナ、古生代	フズリナは古生代の示準化石
077	シーラカンス	シーラカンスは古生代の化石とほぼ同じすがたの現生種が発見されたため生きた化石と呼ばれる
078	メタセコイア (アケボノスギ)	メタセコイアは新生代の化石とほぼ同じすがたの現生種が発見されたため生きた化石と呼ばれる
079	今は絶滅した生物やその痕跡の化石で、地質時代の手がかりとなる化石	すでに絶滅している生物の化石は、地質時代を知る手がかりとなる示準化石という

080 今も生きている生物や
その痕跡の化石で、当
時の環境を知る手がかりとなる

現在も生息している生物の化石は、当時の環境を知る手がかりになる示相化石という